四中だより

令和7年6月2日
荒川区立第四中学校
学校だより　6月号

「1 位から最下位へ」+「α」

校長　　横林　泰介

私は、中学校 1 年時の身長が 133 ㎝、高校 1 年時は 153 ㎝であった。小学生 1 年から 9 年間、集会の整列で腕を伸ばしたことがなく手のひらはいつも腰の位置にあった。しかし足だけはなぜか早く、運動会で「かけっこ・徒競走」は小学校 1 年から中学校 1 年の 7 年間いつも 1 位であり大好きな学校行事であった。

中学校 2 年の体育の授業で 1500m を 5 分 30 秒で走り、クラスで 2 位の記録を出し、運動会で 1500m に参加することになった。自分ではバスケットボール部に所属し、毎日走り込んでいたので少々自信もあった。しかし一緒に走るメンバーは大きな陸上部員ばかりであった。本番、スタートの合図とともに走り始めた。陸上部がすさまじい速さで前をいく。それについて行くために私もいつもよりもオーバーペースで走った。いつもならばラスト一周で速度が上がるのだが足が動かず完全なるペースダウン、ゴールしたときは 14 人中 14 位だった。

この日から口数が減ったような気がした。残念、恥ずかしい、不甲斐ない、自信喪失、挫折・・・心の中はこのような言葉で表現できたと思う。しかし、友人から「頑張ったね」と声をかけてもらい人の暖かさを知り、様々な立場の人の気持ちを考えるようになり、また自分を見つめ直す機会となったなど収穫もあった。

今年の入学式、緒方裕作PTA会長からの祝辞で失敗することを経験してくださいと述べて頂いた。私も全くの同感であった。人生の中で失敗しない人間はいないと思う。むしろ早く失敗を経験することで「思いやり」ある行動、「工夫」することができる。

運動会が大成功で完結しました。感動の一言である。「一致団結　絆がつなぐ勝利のバトン」をスローガンに、生徒・教職員・PTA・地域の皆様でつくりあげたものでした。PTAの皆様から頂いたハッピを纏ったソーラン節は格好よかった。

良い結果が出ず落ち込んでいる生徒さん。大丈夫です。人生には沢山の道があります。今はその道探しの最中です。学校生活の中で、自分にあった自分だけの道が見つかることもあります。

前をしっかり見てゆっくり一歩ずつ踏み出していこう。

【生徒総会】

５月９日(金)に生徒総会が実施されました。講評で私が担任をもっていた時に教室掲示していた５つの意識を生徒のみなさんに紹介しました。

①「目的意識」どうしてやるかを考える大切さ
②「仲間意識」友達の大切さ
③「規範意識」ルールの大切さ
④「締切意識」時間の大切さ
⑤「進路意識」将来何がしたいのかを考える大切さ

各委員会の議案書の中で５つの意識に関連したものが多かったので紹介します。

生徒会本部…希望の道を切り開け	「進路意識」
１年学級委員会…役割を通して仲間をつくる	「仲間意識」
２年学級委員会…思いやりをもった学級委員になる	「仲間意識」
３年学級委員会…先読みをした行動をとる	「進路意識」「締切意識」
Ｄ組学級員…皆が安心して過ごせるクラス	「規範意識」「仲間意識」
生活委員会…５つの大切を守る	「規範意識」
環境委員会…みんなが気持ちよく過ごす	「目的意識」
学習委員会…カウントダウンポスターの制作	「進路意識」「締切意識」
衛生委員会…周りを気づかえる委員会	「仲間意識」
広報委員会…時間を守る	「締切意識」

仲間意識が多かったですね。生涯の友をたくさんつくってほしいです。
最後に特に３年生にしっかり頭にいれてほしいことがあります。私は新任の頃、高校で勤務をしていました。面接試験があり面接官をしました。ここで必ず聞くことは、委員会・係活動の活動内容と生徒の変容についてでした。

【面接官】あなたは、委員会・係活動で何をしていましたか。
【受験生】衛生委員をしていました。
【面接官】活動内容を教えてください。
【受験生】給食時に、手を洗いすぐに配膳を終えて着席するように呼びかけました。
【面接官】呼びかけをした結果どうなりましたか。
【受験生】生徒の食べる時間が増えて残菜率が減少しました。

これで合格点です。活動内容とその成果を言えるように今から意識しましょう。